ポータブルトランシーバー

型名 WD-TR350 取扱説明書

技術基準適合証明品

ー お買い上げありがとうございます。 ー

ご使用の前に、この「**取扱説明書**」と添付の「**電池の取扱いについてのご注意**」をお読みのうえ、正しくお使いください。
本説明書に合わせて「デジタルワイヤレスインターカムシステム／ WD-3000 シリーズ」の「**取扱説明書**」と「**安全上のご注意**」もお読みください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST1294-001B

ご注意

- 本機は「デジタルワイヤレスインターカムシステム／ WD-3000 シリーズ」のシステム商品です。本機を使用する場合は、次の機器を使用してください。
  - メインコントローラー WD-M300(E) タイプ以降
  - セルステーション WD-T300(E) タイプ以降

  (E) より前のタイプをご使用の場合、機能の一部がお使いいただけない場合があります。
  WD-TR350 のチャージャーは、WT-C50(B) タイプ以降を使用してください。
- 本書はポータブルトランシーバー WD-TR350 の機能について解説しています。インカム通話手順や詳しい操作方法については、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機を分解、改造しないでください。本機の改造は、法律でも固く禁じられています。
- 本機には、「技術基準適合証明品」をあらわす証明ラベルがはってあります。証明ラベルをはがしたり、破いたりすると、サービスを受けられないことがあります。大切に扱ってください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。
- バッテリーを使わないときは、涼しい乾燥した場所に保管してください。高温になる場所（直接日光の当たる場所など）に放置しないでください。液モレや寿命を早める原因になります。
- バッテリーの端子部が汚れていると、動作時間が短くなります。メインコントローラー（WD-M300）添付の「月に 1 度は清掃を！」をご覧になり、清掃してください。
- バッテリーの充放電回数は約 300 回です。300 回以下であっても動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命と思われます。新しいものをお買い求めください。
- コントロールマイクロホンやイヤホンマイクアダプターを接続するときは、必ず本機の電源を OFF にしてから行なってください。電源が ON のときに接続した場合、保護装置がはたらき、本体での操作ができなくなります。コントロールマイクロホンやイヤホンマイクアダプターも動作しません。
- ［トーク］ボタンを押した状態で本機の電源を入れると、保護装置がはたらき、本機やコントロールマイクロホン、イヤホンアダプターでの操作ができなくなります。
- コントロールマイクロホン WT-UM33 など、ロック式のマイクはロックを解除してから電源を入れてください。

ご使用の前に

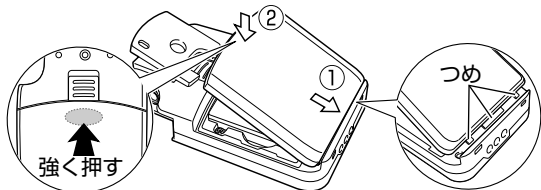
バッテリーの取り付け／取りはずし

■ 取り付け

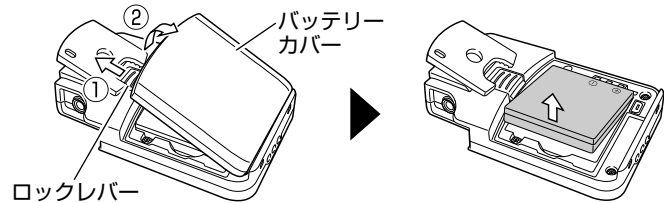
1. ロックレバーを下図矢印の方向へスライドさせながら、バッテリーカバーを持ち上げます。

2. バッテリーの端子と本体の端子を合わせ、バッテリーを押し込みます。

3. 本体とバッテリーカバーのつめを下図のように合わせ、奥まで差し込みながら倒してバッテリーカバーの上部を強く押します。

※ 本体の防水性能を維持するため、ロックレバーおよびバッテリーカバーのずれや傾きなどがないことを確認してください。

■ 取りはずし

1. 電源を切った状態で、ロックレバーを下図矢印の方向へスライドさせながら、バッテリーカバーを持ち上げます。

2. バッテリーを持ち上げて取りはずします。

充電について

お使いになるときは、あらかじめ専用充電器 WT-C50 で充電（約 3 ～ 4 時間）してください。
くわしい充電のしかたは、専用チャージャー WT-C50 の取扱説明書をお読みください。

ご注意

- 子機を充電するときは、必ず専用充電器 WT-C50(B) タイプ以降を使用してください。

コントロールマイクロホン、イヤホンの接続

別売のコントロールマイクロホン、イヤホンを接続します。

- コントロールマイクロホン／イヤホンマイクアダプター適合機種：
  WT-UM8 ／ WT-UM50 ／ WT-UM52 ／ WT-UM33 ／ WD-UM300

※ ご使用の前に、コントロールマイクロホン、イヤホンの取扱説明書を必ずお読みください。
※ 必ず本機の電源を OFF にして接続してください。電源が ON のときにコントロールマイクロホンを接続すると、表示部に「MIC」が点滅表示され、通話ができません。
※ コントロールマイクロホンのプラグは、まっすぐ差し込んでください。

● コントロールマイクロホン

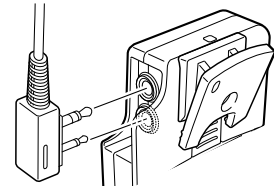
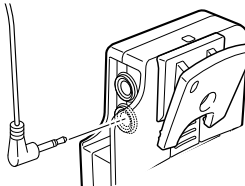
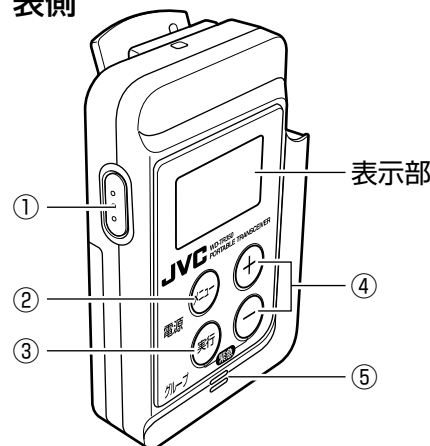
● イヤホン

各部の名称とはたらき

表側

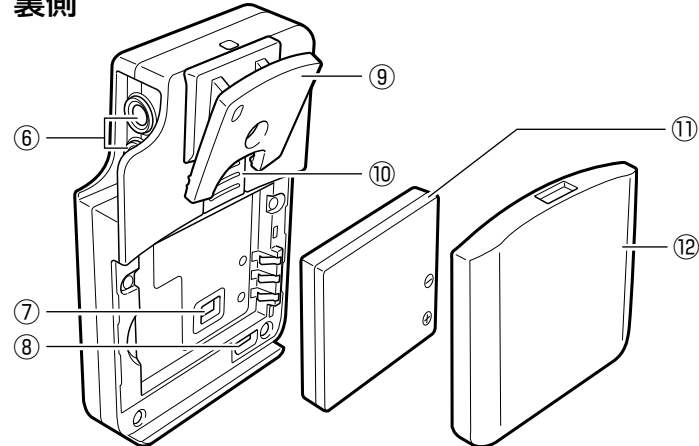
裏側

■ クリップの取り付け

付属のねじで⊕ドライバーを使って取り付けます。
※ 位置決め用の穴に注意して取り付けてください。

① ［機能］（トーク／機能）ボタン
- 通話するときに押します。
- お好みのファンクション（1 機能のみ）を割り当て、実行できます。

② ［メニュー］（メニュー／電源）ボタン
- メニュー画面の表示と、ファンクションの選択をします。
- 2 秒以上長押しすると、電源を ON ／ OFF します。
  ※ メニュー選択画面は一定時間（約 6 秒間）操作しないと解除され、メニュー選択画面操作前のモードに戻ります。

③ ［実行］（実行／グループ）ボタン
- 表示されているファンクションを実行します。
- 個別通話モードや放送モードなど、グループ通話以外のファンクション実行中に 2 秒以上長押しすると、グループ通話モードに切り換わります。
- 個別呼出や一斉呼出、外線電話着信、外線電話取次に応答します。

④ ［＋］［－］（音量・設定変更）ボタン
- 受話音量レベルを 10 段階で調節します。
  どちらかのボタンを一度押すと、音量設定画面（VOL）が表示されます。［＋］ボタンを押すと音量が大きくなり、［－］ボタンを押すと音量が小さくなります。
- グループ通話のグループ番号や個別通話のメニュー画面では、内線番号などを選択します。

⑤ 内蔵マイク
- 内蔵マイクに向かって話します。
  ※ 別売のコントロールマイクロホンまたはイヤホンマイクアダプターを接続すると使用できなくなります。

⑥ マイク端子／イヤホン端子
- 別売のコントロールマイクロホン、イヤホン、またはイヤホンマイクアダプターを接続します。

⑦ モード設定スイッチ
- ファンクションやサービス用の設定を行います。
  ※ 通常は使用しません。スイッチには触らないでください。

⑧ データ設定端子
- 子機のシステムへの登録や設定の変更などを行うときに使用します。
  ※ 通常は使用しません。端子には触らないでください。

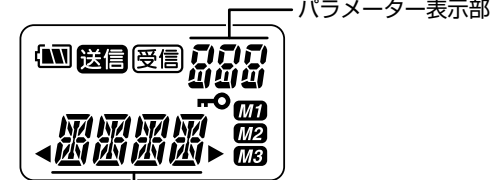
⑨ クリップ
- 本機を衣服などへ固定するときに使用します。

⑩ ロックレバー
- バッテリーカバーの取り付け、取りはずしのときに使用します。

⑪ バッテリー（消耗品）

⑫ バッテリーカバー

表示部について

表示部には、本機の様々な状態が表示されます。

表示	説明
(電池アイコン)	バッテリーの残量が表示されます。
送信	他の子機などへの呼出中に点滅表示され、通話の送信中に点灯表示されます。
受信	他の子機などからの呼出中に点滅表示され、通話の受信中に点灯表示されます。
(鍵アイコン)	キープロテクト機能が ON に設定されているときに表示されます。
◀ ／ ▶	メニュー画面でファンクション選択中に表示されます。
パラメーター表示部	現在選択している内線番号やグループ番号、音量レベル、ヒアリンググループなどが表示されます。
M1 ／ M2 ／ M3	子機に登録されている外線電話番号を呼び出しているときに表示されます。

バッテリー残量表示

本機の表示部には、バッテリー残量の目安が 3 段階で表示されます。

※ バッテリー残量が低下すると、電池残量警告音（10 秒間隔でピッ、ピッ…）がなります。バッテリーを充電するか、予備のバッテリーに交換してください。

ファンクション表示部の表示について

現在実行または選択しているファンクションが表示されます。

表示	ファンクション	表示	ファンクション
GRP	グループ通話	TEL	外線電話通話
ALL	一斉呼出／一斉通話	HOLD	外線電話取次
NUM	個別通話	BRK	外線電話強制切断
MTG	招集通話	EMG	緊急通知
SPK	放送	H/O	手動ハンドオーバー
TALK	トーク	FUNC	プリセット機能選択（FUNCTION）
EXT	外部機器制御	HEAR	ヒアリングモード
SUND	外部音源起動		

基本操作

ご注意

*マークのついた操作は、初期設定では実行できません。
*1：設定を行わないとファンクションが表示されず、実行できない操作
*2：ファンクションは表示されるが、設定を行わないと実行できない操作
なお、本機の設定はお受け取りの際に変更されている場合があります。お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

電源を ON ／ OFF する

■ 電源 ON のしかた

1. 電源 OFF の状態で［メニュー］ボタンを 2 秒以上長押しする
「LINK」が点滅表示されます。システムに接続すると「GRP」が表示され、グループ通話モードになります。システムに接続できないときは「LINK」が点滅表示されたままとなり、通話ができません。接続できるエリアへ移動してください。

■ 電源 OFF のしかた

1. 電源 ON の状態で［メニュー］ボタンを 2 秒以上長押しする
すべての表示が消えます。

キープロテクトを ON ／ OFF する

［メニュー］ボタンや［実行］ボタンが動作しないようにロックします。

1. 音量・設定変更ボタンの［+］ボタンを押しながら、［−］ボタンを 3 秒以上長押しする
キープロテクトが ON になり、表示部に「⊶」が表示されます。
再度同じ操作をすると、キープロテクトが OFF になります。
※ 初期設定では、電源の ON ／ OFF と緊急通知以外のファンクションがすべてロックされます。ロックするファンクションについては、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

通話をする

本体の［機能］ボタンまたはコントロールマイクロホンのトークボタンを使用して通話します。

1. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
※ コントロールマイクを接続しているときは、本体の内蔵マイクは使用できません。

2. 話し終わったら、トークボタンをはなす

■ マイク動作設定時の操作について

トークボタンを使用した通話の方法には、「PTT」、「PTT ホールド」、「VOX」があります。これらは子機の設定によって異なります。
本書では、PTT 設定での操作方法を記載しています。
● PTT：本体またはコントロールマイクロホンのトークボタンを押している間、通話することができます。
● PTT ホールド：本体またはコントロールマイクロホンのトークボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話を終了します。
● VOX：音声に反応して自動的にマイクが ON になります。トークボタンを押すことなく、ハンズフリー通話ができます。
※ PTT、PTT ホールド、VOX の設定については、お買い上げ販売店または設置業者へお問い合わせください。

グループ通話モードで通話する

電源を入れた直後は、本機が所属するグループ（ホームグループ）での「グループ通話モード」になっています。

1. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す

■ 通話するグループを切り換える

1.「◂GRP▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す

2.［+］［−］ボタンでグループを選択し、［実行］ボタンを押す
イヤホンからモード切換音（ブッ）がなります。

一斉連絡をする

一斉連絡には、グループ全員を呼び出す「一斉呼出モード」とグループ全員と通話する「一斉通話モード」があります。操作方法は同じですが、同時に使用することはできません。
※「一斉呼出モード」と「一斉通話モード」の設定については、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

1.「◂ALL▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押し、［実行］ボタンを押す
イヤホンから一斉連絡音（ピポーピポー）がなります。
※ 無効音（ブップッ）が聞こえたときは、しばらく待ってからやり直してください。

2. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで［実行］ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

個別通話をする *2

1.「◂NUM▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す

2.［+］［−］ボタンで内線番号を選択し、［実行］ボタンを押す
イヤホンから個別呼出音（トゥルルルルル…）がなり、相手を呼び出します。
※ 無効音（ブップッ）が聞こえたときは、しばらく待ってからやり直してください。

3. 相手が応答したのち、トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで［実行］ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

応答する

「個別呼出モード」や「一斉呼出モード」などの呼び出しに応答します。

1. 呼出音が聞こえたら、［実行］ボタンを押す
※「一斉通話モード」または「招集通話モード」は、呼び出しを受けると自動的に各モードに切り換わるため、［実行］ボタンを押す必要はありません。

2. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで［実行］ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

放送する *2

1.「◂SPK▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す

2.［+］［−］ボタンでグループを選択し、［実行］ボタンを押す

3. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す

4. 放送後、「GRP」が表示されるまで実行ボタンを 2 秒以上長押しする
「グループ通話モード」に戻ります。

招集する *2

1.「◂MTG▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押し、［実行］ボタンを押す
イヤホンから招集通話音（ピポポ）がなり、「送信」が表示されます。
※ 無効音（ブップッ）が聞こえたときは、しばらく待ってからやり直してください。

2. トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで［実行］ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。

ヒアリングモード *1

複数の子機が主に通話の受信だけをおこなう「ヒアリングモード」があります。
「ヒアリングモード」には、ヒアリングマスター子機とヒアリングスレーブ子機があり、子機のモードは表示部で確認することができます。
● ヒアリングモード：「HEAR」が表示（ファンクション表示部）
● ヒアリングマスター子機：「送信」、「受信」が表示
● ヒアリングスレーブ子機：「受信」が表示
※「ヒアリングモード」で使用するには、モード設定スイッチや子機データの設定が必要です。詳しくは、WD-3000 シリーズ取扱説明書をご覧ください。
設定変更はお買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。
※「ヒアリングモード」の動作中は使用できる環境や動作に制限があります。詳しくは、WD-3000 シリーズ取扱説明書をご覧ください。

外線電話で通話する *1

■ 外線電話をかける

1.「◂TEL▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す

2.［+］［−］ボタンで電話番号（M1 ～ M3）を選択し、［実行］ボタンを押す
イヤホンから外線電話発信音（プルルルル…）がなり、相手を呼び出します。

3. 相手が応答したのち、トークボタンを押しながらマイクに向かって話す
通話が終了したら、「GRP」が表示されるまで［実行］ボタンを 2 秒以上長押しします。「グループ通話モード」に戻ります。
※ あらかじめ外線電話発信の設定と電話番号の登録が必要です。お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

■ 外線電話の取り次ぎをする

外線電話通話中、その通話を一時保留にして他の子機に外線電話を取り次ぐことができます。

1.「◂HOLD▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押し、［実行］ボタンを押す

2.「グループ通話モード」、「一斉通話モード」、「招集通話モード」、または「個別通話モード」で他の子機を呼び出す
相手が応答操作をすると、取次完了音（パポ）がなり、外線電話取次が完了します。
※「個別通話モード」で呼びかけを行った場合は、相手が応答操作をすると「個別通話モード」に移行します。相手がもう一度応答操作を行うと、外線電話取次が完了します（このときは、取次完了音はなりません）。
※「一斉呼出モード」では、外線電話の取り次ぎはできません。

緊急を通知する *1

1.［実行］ボタンを押しながら、音量・設定変更ボタンの［−］ボタンを 3 秒以上押す
緊急音（ピロロピロロピロ）がなります。

手動ハンドオーバーを行う *1

現在接続しているセルステーションから、別のセルステーションへ手動で接続を切り換えます。

1.「◂H/O▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す

2.［実行］ボタンを押す

機能ボタンにファンクションを割り当てる

本体の［機能］ボタンにお好みのファンクションを 1 つ割り当て、機能ボタンとして使用できます。

1. 登録したいファンクションが表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す
グループ番号や内線番号などの番号を指定する場合は、［+］［−］ボタンで登録したい番号を選択します。

2. 本体の［機能］ボタンを 3 秒以上長押しする
登録が完了すると、登録完了音（ブーッ）がなり、「COMP」と表示されます。
※ すでに別のファンクションがボタンに登録されていた場合は、あとから登録したファンクションに上書きされます。
※ 機能ボタンのファンクションは、あらかじめシステムで設定されている場合があります。くわしくは、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

■ ファンクションを初期設定（トーク）に戻す

1.「◂TALK▸」が表示されるまで［メニュー］ボタンを数回押す

2.［機能］ボタンを 3 秒以上長押しする
登録が完了すると、登録完了音（ブーッ）がなり、「COMP」と表示されます。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほかに異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
本機は、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源を切って、お買い上げ販売店または設置業者にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

デジタルワイヤレスインターカムシステム／ WD-3000 シリーズ取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

消耗部品について

バッテリーは消耗部品です。部品交換は保証期間内でも有償とさせていただきます。
バッテリー（WT-UB50［3 個入り］）をお買い求めの際は、お買い上げ販売店、またはお近くのサービス窓口にお問い合わせください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。
● リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて

Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご不要になった電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、充電式電池の金属部には、セロハンテープなどの絶縁テープを貼ってお持ちください。

仕様

送受信周波数	：1.9 GHz 帯
送信出力	：10 mW（平均）
変調精度	：12.5 % 以下
受信感度	：16 dB μ V 以下
電源	：DC3.7 V（充電式リチウムイオン電池使用）
使用時間	：約 10 時間（フル充電時）
動作温度範囲	：0 ℃～ +40 ℃
防水レベル	：IPX4 準拠（JIS C0920）
外形寸法	：54 mm（幅）× 85 mm（長さ）× 18 mm（厚み）
質量	：55 g（クリップ、バッテリー含まず）
仕上げ	：ABS + PC 樹脂、ブラック
付属品、添付物	：保証書……1
	取扱説明書（本書）……1
	電池の取扱いについてのご注意……1
	クリップ……1
	ねじ（クリップ用）……1
	バッテリー……1

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター
0120−2727−87
携帯電話･PHS･一部のIP電話･FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX(045)450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ http://www3.jvckenwood.com/
株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

LST1294-001B